

仙台市下水道マスタープラン検討委員会（第3回）

日時：令和7年2月5日（水）9：00～

場所：青葉区役所9階 第1会議室

次第

1. 開 会
2. 議 題
 - (1) 基本方針3にかかる施策や主な取組み
3. その他
4. 閉 会

【配布資料】

- | | |
|-------|--|
| 資料1 | 基本方針3にかかる施策や主な取組み |
| 参考資料1 | 第1回及び第2回仙台市下水道マスタープラン検討委員会での意見及び事務局の回答 |
| 参考資料2 | 仙台市下水道マスタープラン検討委員会での検討事項及びスケジュール |
| 別紙1 | 第3回仙台市下水道マスタープラン検討委員会出席者名簿 |

資料 1

基本方針 3 にかかる施策や主な取組み

基本方針 3 と施策

視点：経 営

基本方針 3

健全で持続可能な経営を推進する下水道

第1回検討委員会でお示した内容

お客さま満足の向上や関係者との連携を図るとともに、経営管理の徹底により効率的・効果的な事業運営に努め、良質な下水道サービスと持続可能な経営を推進します

修正案

お客さま満足の向上や関係者との連携を図るとともに、経営管理の徹底により効率的・効果的な事業運営に努め、良質な下水道サービスの**提供**と持続可能な経営を推進します

基本方針 3 と施策

視点：経 営

基本方針 3

健全で持続可能な経営を推進する下水道

お客さま満足の向上や関係者との連携を図るとともに、経営管理の徹底により効率的・効果的な事業運営に努め、良質な下水道サービスの提供と持続可能な経営を推進します

施策 6 持続可能な経営の推進

- (a) 経営管理による効率的・効果的な事業運営
- (b) 人材育成・技術継承
- (c) デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

施策 7 お客さま満足の向上と関係者との連携強化

- (a) 戦略的な広報の推進
- (b) お客さま対応の充実
- (c) 関係者との協働・連携

P.2

施策 6 持続可能な経営の推進

【次期マスタープランの記載内容】

施策 6 持続可能な経営の推進

- 効率的・効果的な事業運営に向けた取組みを進めるとともに、計画的な人材育成や技術継承、DXなどの取組みを推進します。

主な取組み事例

(a) 経営管理による効率的・効果的な事業運営

- ① アセットマネジメントシステムの運用により、自律的・継続的な改善を図りながら、最適な事業運営を行います。
- ② 資金確保の取組みや適正な下水道使用料の検討を行うなど、財務基盤の強化に向けた取組みを推進します。
- ③ 安定した事業運営を維持するため、民間活力の活用について検討し、更なる業務の効率化やコスト縮減等を図ります。

(b) 人材育成・技術継承

- ① 下水道職員を対象とした計画的な人材育成や技術力の維持・継承を図ります。

(c) デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

- ① 窓口サービスのオンライン化やICTを活用した維持管理業務の効率化など、下水道事業におけるDXの取組みを推進します。

P.3

施策 6 持続可能な経営の推進

【これまでの経営状況】

直近10年間の経費回収率は100%超を維持、企業債残高も順調に減少するなど、事業運営の安定化に向けて取り組んでいる。



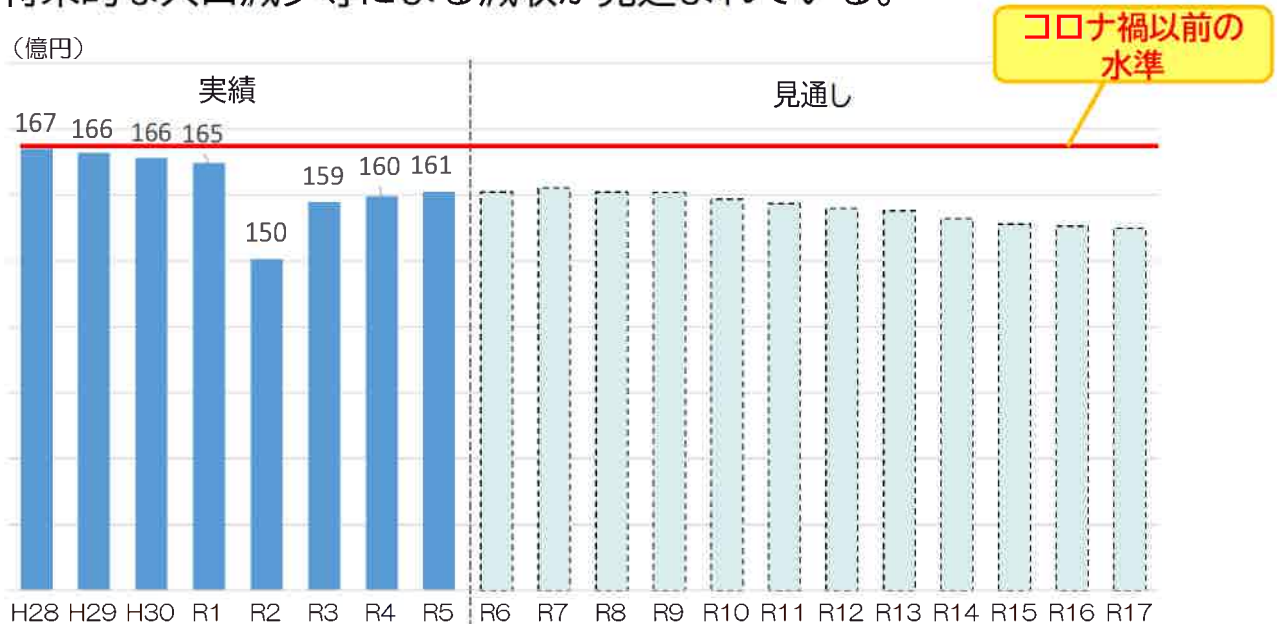
これまでは安定した経営状況を維持

P. 4

施策 6 持続可能な経営の推進

【背景】経営状況①

下水道使用料は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあるものの、将来的な人口減少等による減収が見込まれている。



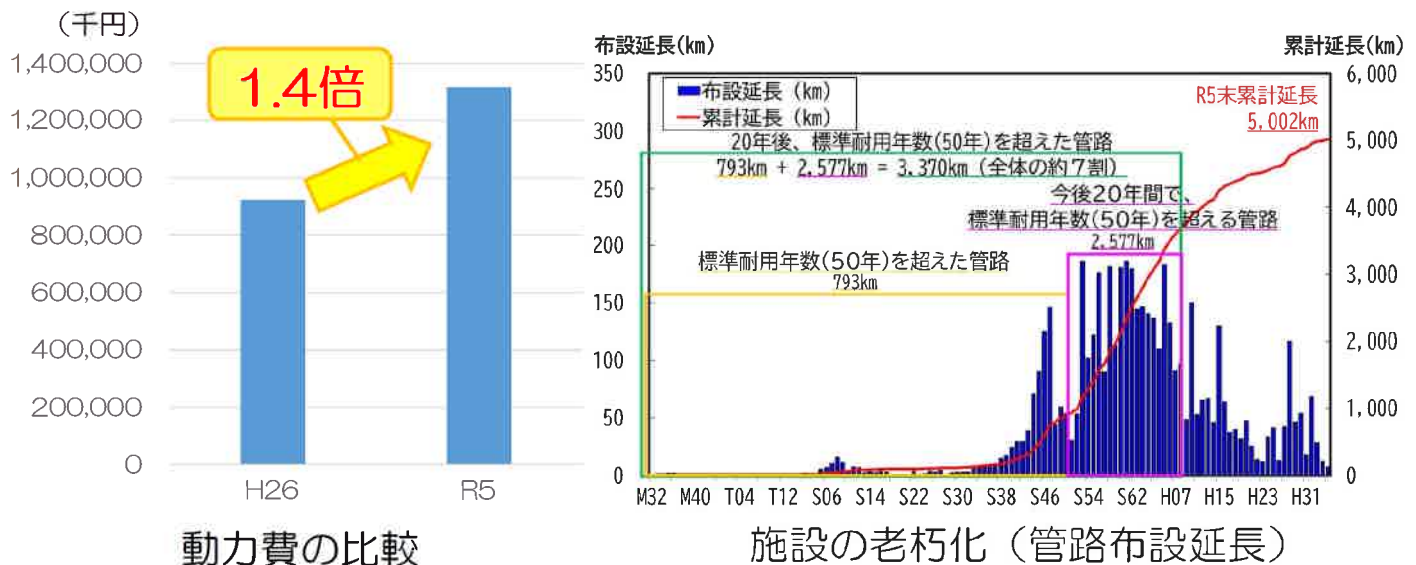
将来的に下水道使用料収入の減少が見込まれる

P. 5

施策 6 持続可能な経営の推進

【背景】経営状況②

一方、昨今の物価高騰や下水道施設の老朽化に伴う改築更新需要の増大により、維持管理及び建設改良に係る事業費は増加していく見込み。



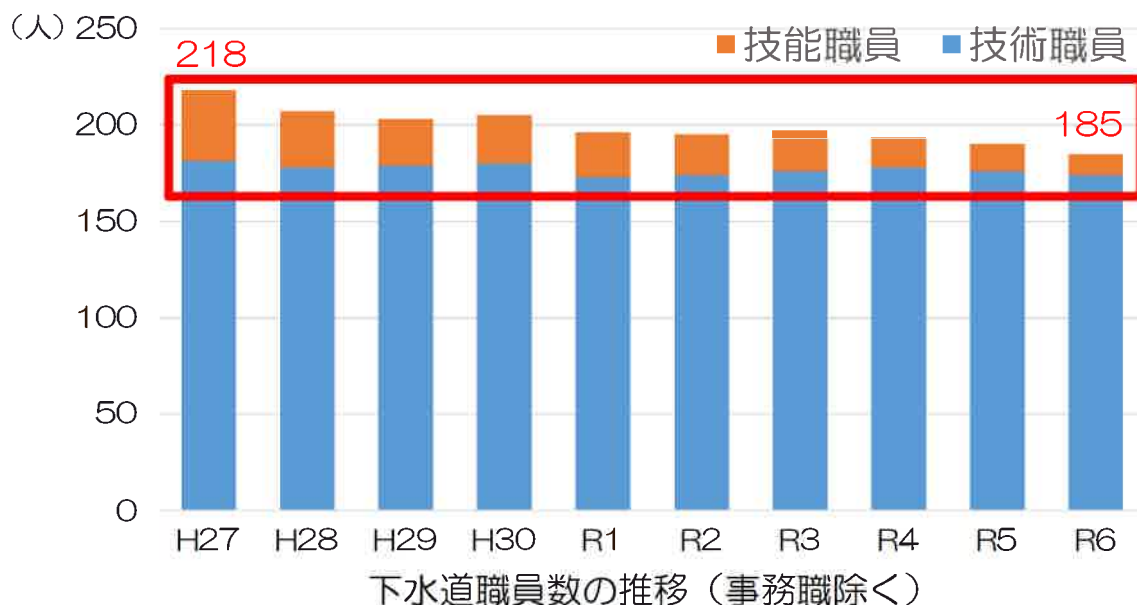
更なる事業費の増加が見込まれる

P. 6

施策 6 持続可能な経営の推進

【背景】組織の状況①

技術職員数は大きな変動はないものの、技能職員数が減少しているため、全体数は減少している。



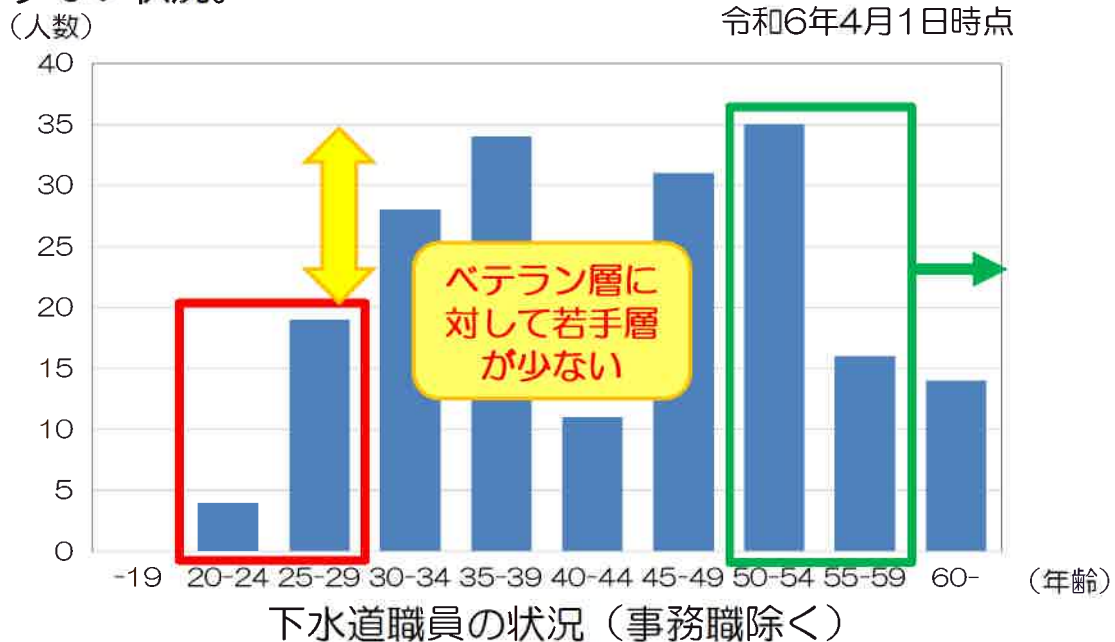
技術力の確保が必要

P. 7

施策6 持続可能な経営の推進

【背景】組織の状況②

中間層は一定程度いるものの、今後高齢期を迎える職員に対し、若手職員が少ない状況。



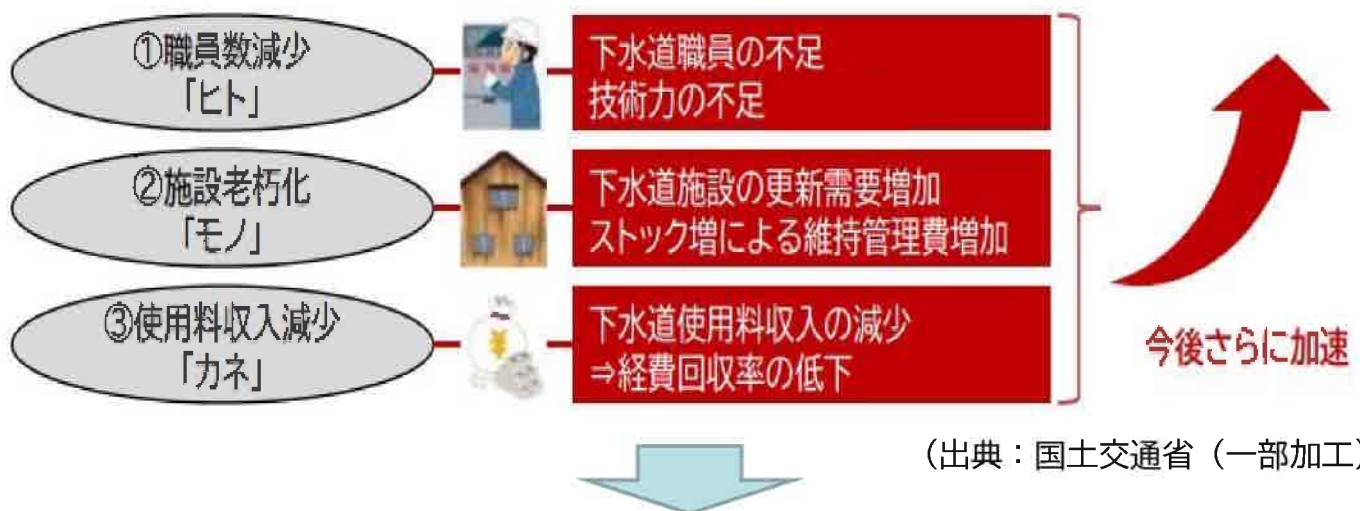
若手職員の確保や育成、技術力の維持・継承が必要

P.8

施策6 持続可能な経営の推進

【背景】経営環境

下水道施設の改築更新需要の増加や将来的な下水道使用料収入の減少など、本市下水道事業における経営環境は一層厳しさを増していく。



**持続可能な下水道事業を維持するためには、
民間活力の活用など様々な取組みが必要**

施策 6 持続可能な経営の推進

【次期マスタープランの記載内容】

施策 6 持続可能な経営の推進

- 効率的・効果的な事業運営に向けた取組みを進めるとともに、計画的な人材育成や技術継承、DXなどの取組みを推進します。

主な取組み事例

(a) 経営管理による効率的・効果的な事業運営

- ① アセットマネジメントシステムの運用により、自律的・継続的な改善を図りながら、最適な事業運営を行います。
- ② 資金確保の取組みや適正な下水道使用料の検討を行うなど、財務基盤の強化に向けた取組みを推進します。
- ③ 安定した事業運営を維持するため、民間活力の活用について検討し、更なる業務の効率化やコスト縮減等を図ります。

(b) 人材育成・技術継承

- ① 下水道職員を対象とした計画的な人材育成や技術力の維持・継承を図ります。

(c) デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

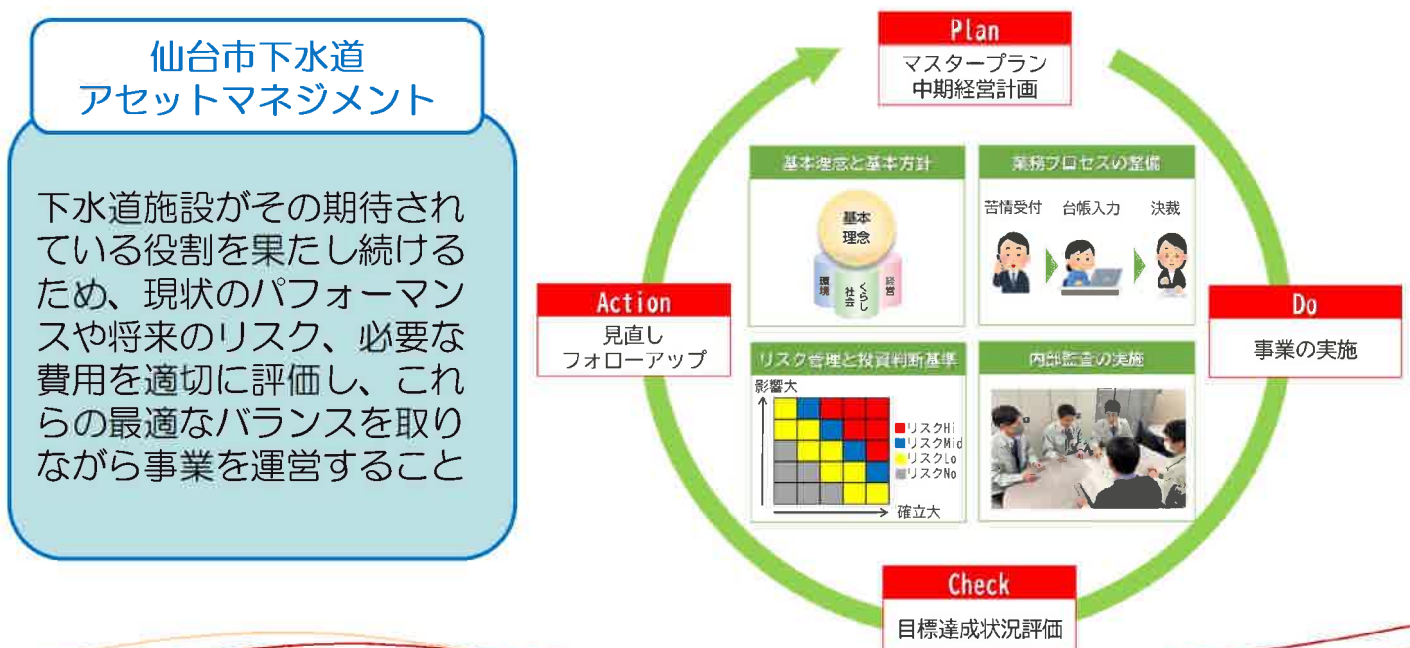
- ① 窓口サービスのオンライン化やICTを活用した維持管理業務の効率化など、下水道事業におけるDXの取組みを推進します。

P. 10

施策 6 持続可能な経営の推進

主な取組み事例 (a) 経営管理による効率的・効果的な事業運営

- ① アセットマネジメントシステムの運用により、自律的・継続的な改善を図りながら、最適な事業運営を行います。



P. 11

施策 6 持続可能な経営の推進

主な取り組み事例（a）経営管理による効率的・効果的な事業運営

- ②資金確保の取り組みや適正な下水道使用料の検討を行うなど、財務基盤の強化に向けた取り組みを推進します。

資金確保の取り組み

更なる収入源確保や確実な下水道使用料収入の確保に向けた取り組みを実施（取り組み例）

- 廃止した下水道施設の跡地の貸付等有効活用の検討
- マンホール蓋を活用した広告事業の実施
- 地下水利用者の実態調査及び適切な下水道使用料の賦課

適正な下水道使用料の検討

下水道事業中期経営計画策定にあわせ、下水道使用料の検証を実施

- 長期収支シミュレーション（将来の財政状況を予測）の実施
- 有識者からの意見聴取
- 適正な下水道使用料体系の検討

P. 12

施策 6 持続可能な経営の推進

主な取り組み事例（a）経営管理による効率的・効果的な事業運営

- ③安定した事業運営を維持するため、民間活力の活用について検討し、更なる業務の効率化やコスト縮減等を図ります。

民間委託
短期契約（3～5年程度）
仕様発注・性能発注
維持管理（・修繕）



ウォーターPPP （官民連携による運営）
長期契約（原則10年）
性能発注
維持管理と更新の 一体マネジメント
プロフィットシェア



＜民間委託の活用例＞

写真提供：全環衛生事業協同組合

P. 13

施策 6 持続可能な経営の推進

【次期マスタープランの記載内容】

施策 6 持続可能な経営の推進

- 効率的・効果的な事業運営に向けた取組みを進めるとともに、計画的な人材育成や技術継承、DXなどの取組みを推進します。

主な取組み事例

(a) 経営管理による効率的・効果的な事業運営

- ① アセットマネジメントシステムの運用により、自律的・継続的な改善を図りながら、最適な事業運営を行います。
- ② 資金確保の取組みや適正な下水道使用料の検討を行うなど、財務基盤の強化に向けた取組みを推進します。
- ③ 安定した事業運営を維持するため、民間活力の活用について検討し、更なる業務の効率化やコスト縮減等を図ります。

(b) 人材育成・技術継承

- ① 下水道職員を対象とした計画的な人材育成や技術力の維持・継承を図ります。

(c) デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

- ① 窓口サービスのオンライン化やICTを活用した維持管理業務の効率化など、下水道事業におけるDXの取組みを推進します。

P. 14

施策 6 持続可能な経営の推進

主な取組み事例 (b) 人材育成・技術継承

- ① 下水道職員を対象とした計画的な人材育成や技術力の維持・継承を図ります。

＜取組み事例＞

スキルマップ (力量表)

業務ごとに必要なスキルを
定量化・可視化
➤ 組織力 (スキル) 向上

△△係	スキル	事業計画・法手続き				
	業務	事業計画策定				
		目標	4月	9月	3月	成長
〇〇係長		3	4	4		0
〇〇主査		3	0	1		1
〇〇技師			2	2		0
〇〇技師		3	1	1		0
〇〇技師		4	2	2		0
必要レベル	(4以上)					1名
	または(3)					2名
					OK	

下水道CPD (継続的な能力開発)

職員の学習と成長に関する
取組みを数値化
➤ モチベーション向上

OJT研修



ベテラン職員から
若手職員への知識
やスキルの継承
➤ 技術継承

P. 15

施策 6 持続可能な経営の推進

【次期マスタープランの記載内容】

施策 6 持続可能な経営の推進

- 効率的・効果的な事業運営に向けた取組みを進めるとともに、計画的な人材育成や技術継承、DXなどの取組みを推進します。

主な取組み事例

(a) 経営管理による効率的・効果的な事業運営

- ① アセットマネジメントシステムの運用により、自律的・継続的な改善を図りながら、最適な事業運営を行います。
- ② 資金確保の取組みや適正な下水道使用料の検討を行うなど、財務基盤の強化に向けた取組みを推進します。
- ③ 安定した事業運営を維持するため、民間活力の活用について検討し、更なる業務の効率化やコスト縮減等を図ります。

(b) 人材育成・技術継承

- ① 下水道職員を対象とした計画的な人材育成や技術力の維持・継承を図ります。

(c) デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

- ① 窓口サービスのオンライン化やICTを活用した維持管理業務の効率化など、下水道事業におけるDXの取組みを推進します。

P. 16

施策 6 持続可能な経営の推進

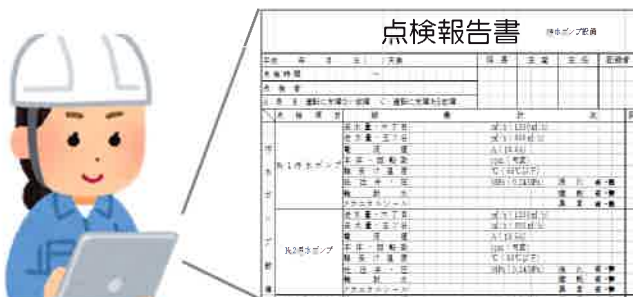
主な取組み事例 (c) デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

- ① 窓口サービスのオンライン化やICTを活用した維持管理業務の効率化など、下水道事業におけるDXの取組みを推進します。

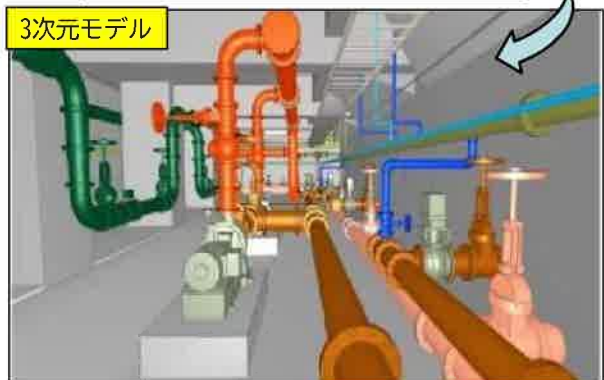
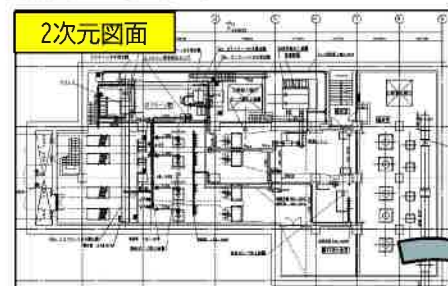
《取組み例》



申請・届出手続きのオンライン化



維持管理へのタブレットの活用



3次元データの活用イメージ
(出典：国土交通省(下図))

P. 17

基本方針 3 と施策

視点：経 営

基本方針 3

健全で持続可能な経営を推進する下水道

お客さま満足の上昇や関係者との連携を図るとともに、経営管理の徹底により効率的・効果的な事業運営に努め、良質な下水道サービスの提供と持続可能な経営を推進します

施策 6 持続可能な経営の推進

- (a) 経営管理による効率的・効果的な事業運営
- (b) 人材育成・技術継承
- (c) デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

施策 7 お客さま満足の上昇と関係者との連携強化

- (a) 戦略的な広報の推進
- (b) お客さま対応の充実
- (c) 関係者との協働・連携

P. 18

施策 7 お客さま満足の上昇と関係者との連携強化

【次期マスタープランの記載内容】

施策 7 お客さま満足の上昇と関係者との連携強化

- 広報・広聴の強化やサービスの充実に関する取組みを推進するなど、本市下水道事業に対するお客さまの理解を深め、満足の上昇を図るとともに、関係者と協働・連携した事業運営に取り組みます。

主な取組み事例

(a) 戦略的な広報の推進

- ① 効果的な広報を実施するため、ターゲットを明確にし、それぞれに応じた各種イベントや施設見学会を実施するなど、積極的かつ戦略的な広報を展開します。

(b) お客さま対応の充実

- ① 苦情要望データの蓄積・分析や市民アンケートの調査結果などにより、お客さまのニーズを把握し、適切に事業へ反映することでお客さま満足の上昇を図ります。

(c) 関係者との協働・連携

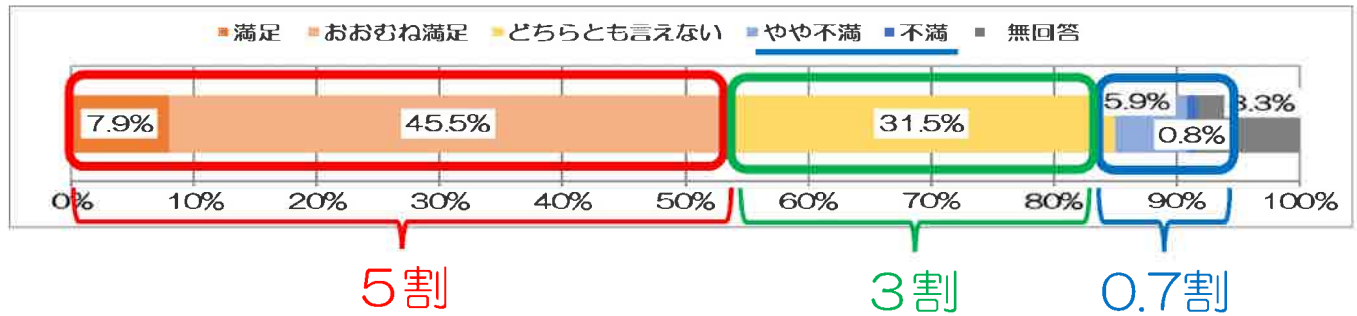
- ① 下水道の適正利用への協力を呼び掛けるなど、市民や地域と協働した取組を進めるとともに、関係団体と連携したイベントを実施するなど、協働・連携の取組を推進します。
- ② 大学等研究機関との共同研究や国内外への技術協力を推進します。

P. 19

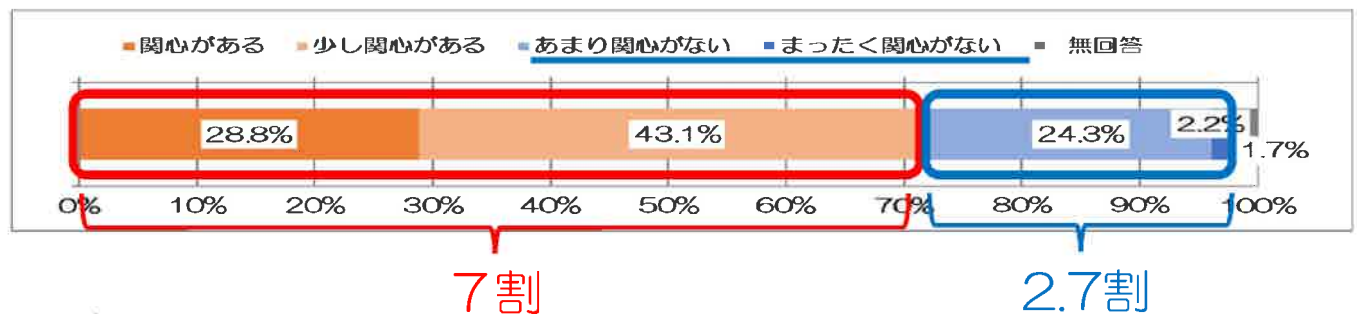
施策7 お客様満足度の向上と関係者との連携強化

【背景】市民アンケート調査結果（令和6年7月実施）

仙台市下水道全般への満足度



仙台市下水道の状況や取組みへの関心度



満足度と関心度の向上に向けた取組み

P. 20

施策7 お客様満足度の向上と関係者との連携強化

【次期マスタープランの記載内容】

施策7 お客様満足度の向上と関係者との連携強化

- 広報・広聴の強化やサービスの充実に関する取組みを推進するなど、本市下水道事業に対するお客さまの理解を深め、満足度の向上を図るとともに、関係者と協働・連携した事業運営に取り組みます。

主な取組み事例

(a) 戦略的な広報の推進

- ①効果的な広報を実施するため、ターゲットを明確にし、それぞれに応じた各種イベントや施設見学会を実施するなど、積極的かつ戦略的な広報を展開します。

(b) お客さま対応の充実

- ①苦情要望データの蓄積・分析や市民アンケートの調査結果などにより、お客さまのニーズを把握し、適切に事業へ反映することでお客さま満足度の向上を図ります。

(c) 関係者との協働・連携

- ①下水道の適正利用への協力を呼び掛けるなど、市民や地域と協働した取組みを進めるとともに、関係団体と連携したイベントを実施するなど、協働・連携の取組みを推進します。
②大学等研究機関との共同研究や国内外への技術協力を推進します。

P. 21

施策 7 お客さま満足向上と関係者との連携強化

主な取組み事例（a）戦略的な広報の推進

- ①効果的な広報を実施するため、ターゲットを明確にし、それぞれに応じた各種イベントや施設見学会を実施するなど、積極的かつ戦略的な広報を展開します。

<戦略的広報のイメージ>

基本理念を実現するための3つの視点と基本方針

くらし・社会	住みやすく快適な暮らしを支え続ける下水道
環境	脱炭素社会の実現と良好な水環境の形成に貢献する下水道
経営	健全で持続可能な経営を推進する下水道

（仙台市下水道マスタープランより抜粋）

戦略的広報を進めるうえでの3つの目標

下水道への理解・
共感を高める

環境に配慮し、
災害への対応力が
高い市民を増やす

将来の担い手を
はぐくむ

P. 22

施策 7 お客さま満足向上と関係者との連携強化

主な取組み事例（a）戦略的な広報の推進

- ①効果的な広報を実施するため、ターゲットを明確にし、それぞれに応じた各種イベントや施設見学会を実施するなど、積極的かつ戦略的な広報を展開します。

<取組み事例>



P. 23

施策 7 お客さま満足の上と関係者との連携強化

【次期マスタープランの記載内容】

施策 7 お客さま満足の上と関係者との連携強化

- 広報・広聴の強化やサービスの充実に関する取組を推進するなど、本市下水道事業に対するお客さまの理解を深め、満足の上を図るとともに、関係者と協働・連携した事業運営に取り組みます。

主な取組事例

(a) 戦略的な広報の推進

- ①効果的な広報を実施するため、ターゲットを明確にし、それぞれに応じた各種イベントや施設見学会を実施するなど、積極的かつ戦略的な広報を展開します。

(b) お客さま対応の充実

- ①苦情要望データの蓄積・分析や市民アンケートの調査結果などにより、お客さまのニーズを把握し、適切に事業へ反映することでお客さま満足の上を図ります。

(c) 関係者との協働・連携

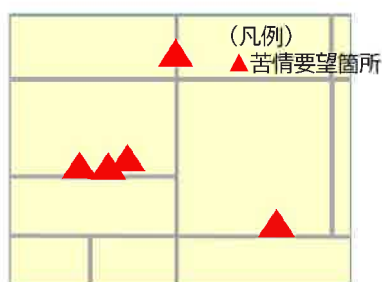
- ①下水道の適正利用への協力を呼び掛けるなど、市民や地域と協働した取組を進めるとともに、関係団体と連携したイベントを実施するなど、協働・連携の取組を推進します。
②大学等研究機関との共同研究や国内外への技術協力を推進します。

P. 24

施策 7 お客さま満足の上と関係者との連携強化

主な取組事例 (b) お客さま対応の充実

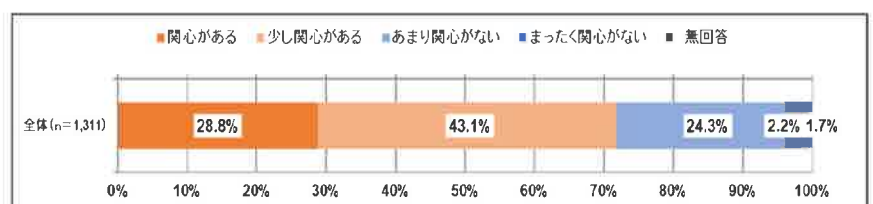
- ①苦情要望データの蓄積・分析や市民アンケートの調査結果などにより、お客さまのニーズを把握し、適切に事業へ反映することでお客さま満足の上を図ります。



苦情要望データ
(陥没多発エリアのイメージ)

データの蓄積・分析

維持管理や改築計画へ反映



市民アンケート調査結果

広報、広聴の充実

お客さま満足の上
向上 ↗

施策 7 お客さま満足の向上と関係者との連携強化

【次期マスタープランの記載内容】

施策 7 お客さま満足の向上と関係者との連携強化

- 広報・広聴の強化やサービスの充実に関する取組みを推進するなど、本市下水道事業に対するお客さまの理解を深め、満足の向上を図るとともに、関係者と協働・連携した事業運営に取り組みます。

主な取組み事例

(a) 戦略的な広報の推進

- ①効果的な広報を実施するため、ターゲットを明確にし、それぞれに応じた各種イベントや施設見学会を実施するなど、積極的かつ戦略的な広報を展開します。

(b) お客さま対応の充実

- ①苦情要望データの蓄積・分析や市民アンケートの調査結果などにより、お客さまのニーズを把握し、適切に事業へ反映することでお客さま満足の向上を図ります。

(c) 関係者との協働・連携

- ①下水道の適正利用への協力を呼び掛けるなど、市民や地域と協働した取組みを進めるとともに、関係団体と連携したイベントを実施するなど、協働・連携の取組みを推進します。
②大学等研究機関との共同研究や国内外への技術協力を推進します。

P. 26

施策 7 お客さま満足の向上と関係者との連携強化

主な取組み事例 (c) 関係者との協働・連携

- ①下水道の適正利用への協力を呼び掛けるなど、市民や地域と協働した取組みを進めるとともに、関係団体と連携したイベントを実施するなど、協働・連携の取組みを推進します。

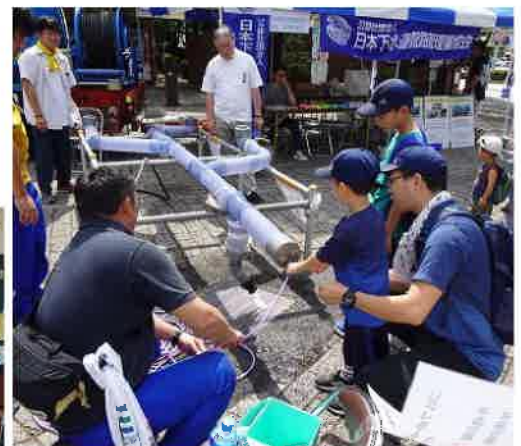


パンフレット

(適正利用への呼びかけ)



下水道出前講座

下水道フェア
(関係団体と連携したイベント)

P. 27

施策 7 お客さま満足向上と関係者との連携強化

主な取組み事例（c）関係者との協働・連携

②大学等研究機関との共同研究や国内外への技術協力・支援を推進します。



下水中ウイルス共同研究



能登半島職員派遣
(国内技術支援)

P. 28

基本方針 3 と施策

視点：経 営

基本方針 3

健全で持続可能な経営を推進する下水道

お客さま満足向上や関係者との連携を図るとともに、経営管理の徹底により効率的・効果的な事業運営に努め、良質な下水道サービスの提供と持続可能な経営を推進します

施策 6 持続可能な経営の推進

- (a) 経営管理による効率的・効果的な事業運営
- (b) 人材育成・技術継承
- (c) デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

施策 7 お客さま満足向上と関係者との連携強化

- (a) 戦略的な広報の推進
- (b) お客さま対応の充実
- (c) 関係者との協働・連携

P. 29

参考資料 1

第1回及び第2回仙台市下水道マスタープラン検討委員会でのご意見及び事務局の考え

第〇回	No.	検討委員会での意見	事務局の回答
第1回	1	仙台市基本計画に掲げている「The Greenest City」は、単なる植物の緑ということだけではなく、環境についてかなり大きく取り上げられていると考えている。マスタープランでは、その趣旨を踏まえたものとしたい。	脱炭素関連の施策をこれまで以上に推進していく必要があると考えており、基本方針2にその内容を盛り込んでいます。
第1回	2	将来、使用料を値上げするとすると、市民の満足度や関心が非常に大事な要素となると考えている。今のうちから、下水道事業によって市民が享受している様々なメリットや、日常の中に隠れていて当たり前のようになっているところを、長期的なスパンで戦略を持った広報をしていく必要があると考えている。そういったところが、今回のマスタープランでも重要な要素となると考えている。	下水道の広報を戦略的に進めていく必要があると考えており、基本方針3にその内容を盛り込む予定です。
第1回	3	マスタープランとして、将来をどう示すのかが非常に重要である。煉瓦下水道だけでなく四ツ谷用水のように100年以上前に整備した土木遺産もある。そのような資産を用いて仙台の魅力を高められるようなマスタープランの作り方があってはならないかと感じている。そういった魅力的な資源を活用し、財源とすることもありうるのではないか。今までのやり方を踏襲するだけではなく、もう少し工夫する余地があるように感じている。	本市下水道施設の有効活用を行う上で、下水道の広報が重要であると考えており、基本方針3にその内容を盛り込む予定です。
第1回	4	資料P.4の基本理念で、大事なキーワードが沢山あるが、都市型浸水について記載されている。都市型浸水については、今回の説明の中では、出てきていない言葉として印象を受けた。これまでの説明を踏まえ、下水道事業の課題とか社会情勢の変化と現行の基本理念の間で大きな流れは変わらないものの、表現が変わってきているものもあるように感じる。そのあたり事務局としてどのように考えているか。	時間の経過により内容や表現を修正する必要がある箇所について、気候変動や脱炭素社会といったキーワードを用いながら、基本理念の修正を行いました。
第1回	5	今後の作業を円滑にするため、現段階から中期経営計画の具体的な掲載内容を想定しながらマスタープランの検討を行えると良い。	ご意見を踏まえ、検討してまいります。
第1回	6	基本理念において、仙台市民の方の誇りやプライドといった言葉が盛り込めるといいのでは。	仙台市の下水道で、誇りやプライドを持てる点は、先人から受け継いだ下水道であると考え、基本理念の修正を行いました。
第1回	7	今回取り上げている持続可能な経営は、長いスパンでの問題だと考えており、例えば、マスタープランで2050年を目指していくといった表現ができるのではないのか。	仙台市基本計画で2050年を見据えたまちづくりを目指すとされていることから、マスタープラン本編「第1章下水道マスタープランの策定の趣旨」において仙台市基本計画に掲げるまちづくりの理念へ貢献する旨、記載する予定です。
第1回	8	前半の議論も踏まえると、やはり市民への情報提供や情報共有が大切である。また、先ほど議論で、経営の見通しも含めて知りたいという声があったので、そういうところがしっかりと反映できるような基本理念、基本方針になっていくといいと考えている。	持続可能な経営や戦略的な広報を進めていく必要があると考えており、基本方針3にその内容を盛り込む予定です。
第1回	9	基本方針2の説明で、汚泥処理について重点的に書かれているが、一方で、汚水処理に関しての記載が少ない印象を受けた。	汚水処理は公共用水域の水質保全に関する取組みとして、基本方針2施策5にその内容を盛り込んでいます。

第〇回	No.	検討委員会での意見	事務局の回答
第2回	10	基本方針1の施策は、「下水道機能の維持」、「浸水対策」、「地震対策」の順に掲載されており、維持管理が重要である旨が伝わる。そのため、基本方針1の説明についても、施策の掲載順と同様に「下水道施設の適切な維持管理や改築は基より、浸水対策や地震対策により防災力を向上し」に修正してはどうか。	基本方針1の施策では、「下水道機能の維持」が特に重要であると考えており、施策の掲載を踏まえ「下水道機能の維持」、「浸水対策」、「地震対策」の順に掲載するよう修正する予定です。
第2回	11	基本方針1で、DXなどの社会情勢の変化と合わせて、「戦略的な維持管理」といった言葉が掲載できるというのでは。	近年は、国土交通省において、DXや最新技術を活用した戦略的な維持・更新という言葉を使用していることから、委員のご意見を踏まえ、中間案を検討してまいります。
第2回	12	基本方針2で、仙台市基本計画の副題である「"The Greenest City" SENDAI」の趣旨を踏まえて脱炭素を目指すことから、もう一步踏み込み「サーキュラーエコノミー（資源循環）」や「エコシステム」という言葉を盛り込めるとよいのではないかと。	本市では、汚泥処理施設の再構築に合わせた資源循環（サーキュラーエコノミー）に取り組むこととしておりますが、市民へのわかりやすさといった観点から、キーワードそのもののマスタープランへの掲載は見送らせて頂きます。
第2回	13	P.11で示すように、下水汚泥を肥料化した際には、付加価値をつけるなど実際に消費してもらえる工夫をしてほしい。	汚泥処理施設の再構築においては、環境負荷を可能な限り抑えた汚泥処理方式を検討していく予定です。肥料化することになった際には、ご意見を踏まえ、検討してまいります。
第2回	14	温室効果ガスの中には、二酸化炭素以外にも含まれていることがわかるようにしてもらえるとよい。	「下水事業における温室効果ガス排出内訳」を示す際に、電力や薬品由来の二酸化炭素や下水の処理工程や焼却に伴って排出されるメタン、一酸化二窒素を対象としている旨、記載する予定です。
第2回	15	温室効果ガスの排出抑制を行うだけでなく、排出された温室効果ガスを削減する取組みも重要である。樹木には、二酸化炭素を固定化する効果があることから、下水道事業だけでなく、仙台市全体として樹木を植えるといった取組みも必要ではないかと。	参考意見として承ります。
第2回	16	令和12年（2030年）の温室効果ガス排出量の削減目標に向けて、今後、具体的にどのような取組みを行っていくのかを示していけるとよい。	今回お示した施策の具体的な取組みについては、次期中期経営計画に盛り込んでまいります。

參考資料 2

仙台市下水道マスタープラン検討委員会での検討事項及びスケジュール

1. 仙台市下水道マスタープランの体系と委員会での検討事項

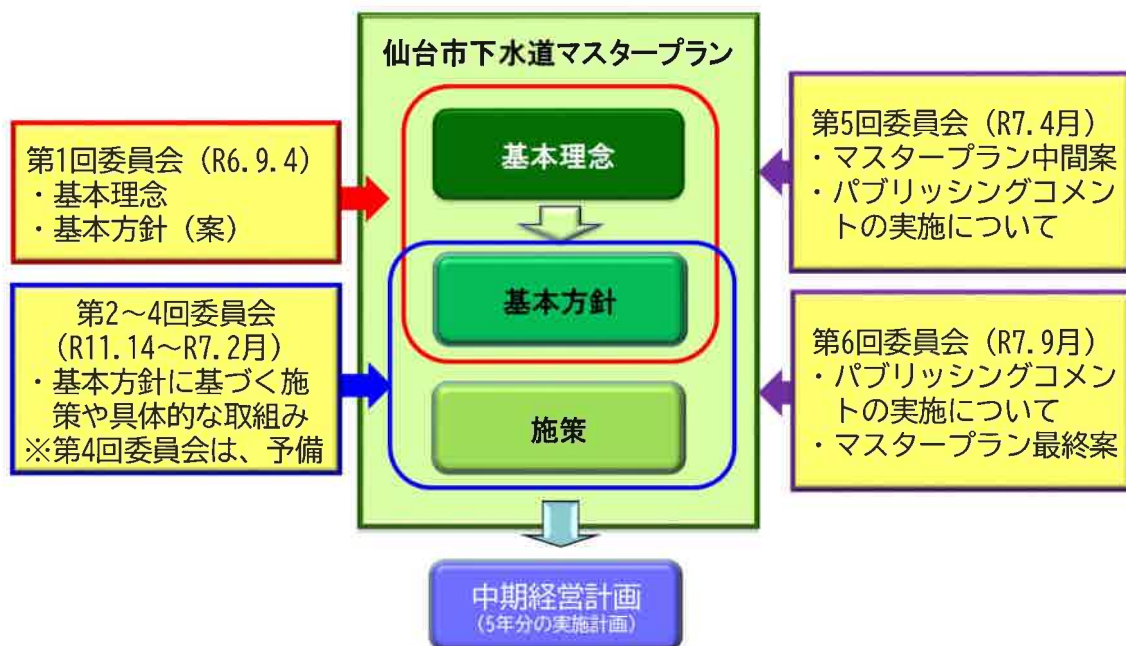
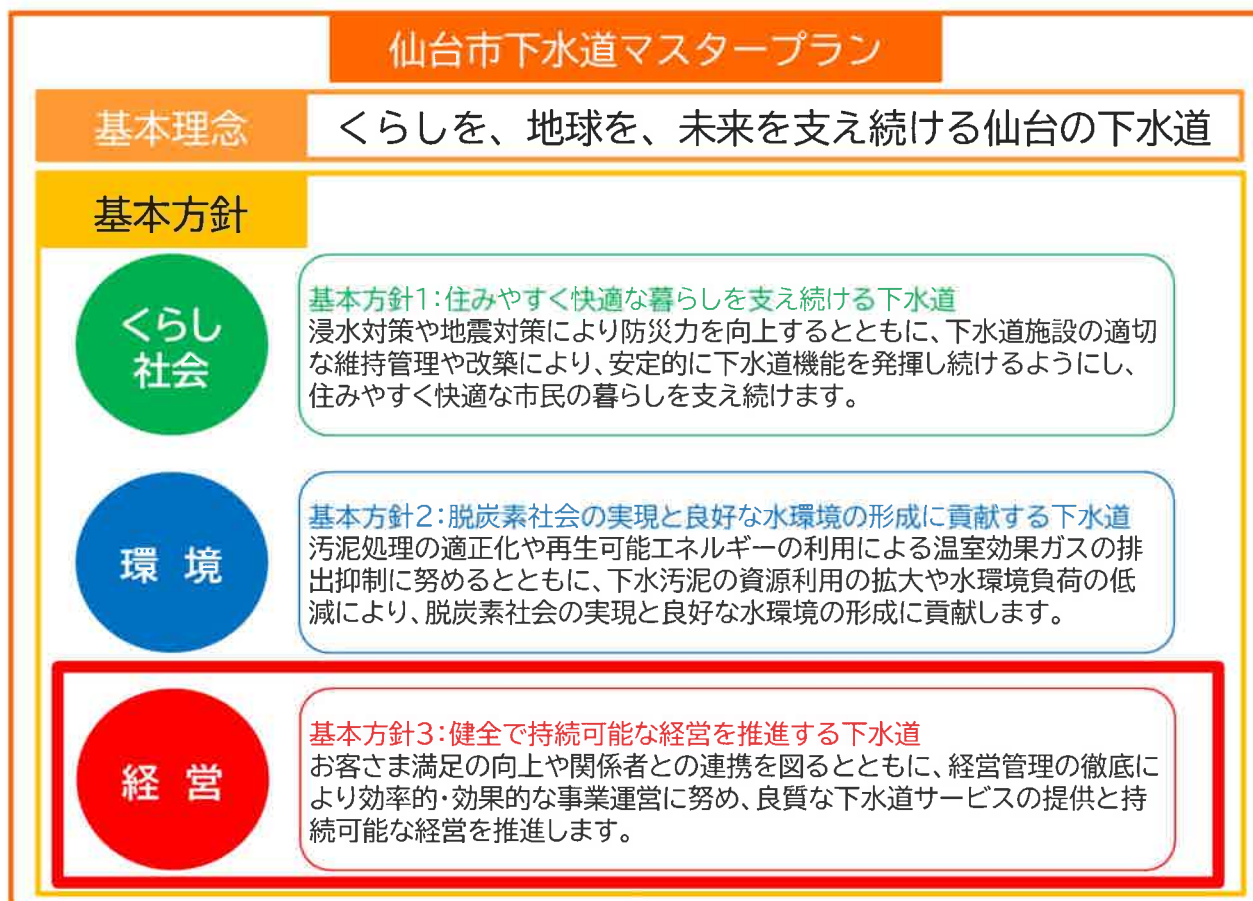


図 仙台市下水道マスタープランの体系と委員会での検討事項

2. 仙台市下水道マスタープラン検討委員会のスケジュール

	開催日時	説明内容	検討事項
第1回	令和6年 9月4日	・マスタープランの策定にあたり考慮すべき事項 ・マスタープランの基本理念と基本方針（案）	・基本理念 ・基本方針（案）
第2回	令和6年 11月14日	・マスタープランの基本理念（修正案） ・基本方針1及び2にかかる施策や主な取組み	・基本理念（修正案） ・基本方針1及び2にかかる施策や主な取組み
第3回	令和7年 2月5日	・基本方針3にかかる施策や主な取組み	・基本方針3にかかる施策や主な取組み
第4回	令和7年 2月（予備）	・必要に応じて設定	・必要に応じて設定
第5回	令和7年 4月	・仙台市下水道マスタープラン（中間案） ・パブリックコメントの実施について	・中間案
第6回	令和7年 9月	・パブリックコメントの結果について ・仙台市下水道マスタープラン（最終案）	・最終案

3. 仙台市下水道マスタープランの体系



別紙 1

第3回仙台市下水道マスタープラン検討委員会出席者名簿

1. 仙台市下水道マスタープラン検討委員会委員名簿（五十音順）

氏 名	所 属 等	備 考
いしがみ けいたろう 石上 圭太郎	株式会社 野村総合研究所 AI コンサルティング部 AI ストラテジーグループ プリンシパル	
くぼた けんご 久保田 健吾	東北大学大学院環境科学研究科 准教授	
きの だいすけ 佐野 大輔	東北大学大学院工学研究科 教授	
たけうち あかね 竹内 茜	株式会社 ウェザーニューズ 陸上気象事業部 セールス&マーケティング セクションリーダー	
ひさだ まこと 久田 真	東北大学大学院工学研究科 教授	
やまもと ことえ 山本 琴枝	仙台商工会議所女性会 常任委員	
わたなべ じゅんこ 渡辺 淳子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事	

2. 仙台市出席者名簿

氏 名	所 属 等	備 考
すがわら ようじ 菅原 洋二	建設局次長兼下水道建設部長	
すずき とおる 鈴木 亨	建設局下水道経営部長	
かんの あきひこ 菅野 明彦	建設局下水道管理部長	
みうら なおき 三浦 直樹	建設局下水道経営部経営企画課長	
なかぬち まさひろ 仲道 雅大	建設局下水道建設部下水道計画課長	
あんつき たろう 安附 太郎	建設局下水道建設部下水道計画課主幹兼計画係長	
かまた きよたか 鎌田 清孝	建設局下水道管理部下水道調整課長	